

平成30年度 倉吉市地域学校推進協議会の概要

1 趣旨

地域学校委員会の理念や取組への理解を深めるとともに、地域と学校の連携・協働の推進に向けた協議をとおして、取組の一層の充実を図る。

2 概要

(1) 日時 平成31年2月23日(土) 10:00~12:00

(2) 場所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

(3) 参加者数 53名

(4) 内容

①説明「倉吉市地域学校委員会が目指すもの」

倉吉市教育委員会 小椋 博幸 教育長

菜の花プロジェクトやハイスクールフォーラムなどの倉吉市の取組の説明があった。生まれ育ったふるさとを守り、維持していく大人に育てていくために、大人の役割として、今後も地域・家庭・学校がそれぞれの立場で何ができるか考えていくことが大切であることを参加者が確認した。



②講義「地域とともにある学校づくり」

鳥取県教育委員会事務局小中学校課 森原 千晶 指導主事



地域と学校が連携・協働しながら、地域の未来を担う子どもたちを育てていく必要があることを示していただいた。学校運営協議会における「計画」「実行」「評価」「改善」のプロセスを具体例を挙げて説明していただき、学校運営協議会は、学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成する場であり、学校と地域が相互に連携・協働していくための基盤であることを再確認することができた。

③演習「地域と学校の連携・協働の推進に向けて」

自分たちの地区の子どもたちについて現状を共有するとともに、どんな力を身につけてほしいかグループワークを行った。演習は各地域学校委員会でも取り入れられる手法であり、今後の活動に活かせるものであった。

◆グループワーク

①わが地区の子どもは？

- ・よいところ
- ・チェンジ・チャレンジしたほうがよいところ

②わが地区の子どもに身につけてほしい力

- ・家庭で
- ・地域で
- ・学校で



④まとめ・アンケート

⑤閉会

3 参加者の感想

- グループワークによって地域の人と思いを共有することの大切さを改めて感じた。まずは、コミュニケーションをしっかりとることが子どもたちのよりよい成長へつながっていくと思う。
- 学校・地域・PTA が連携しないとうまくいかないことが理解できた。
- 地域学校委員会（コミュニティ・スクール）についての基本的な考え方を改めて確認することができた。演習で行った話合いの方法を実際の地域学校委員会で試してみたい。
- グループワークで意見交換がたくさんできた。どの校区も熱い思いで子どもたちを見つめておられることが伝わってきた。
- 地域学校委員としての役割を再確認した。ますますがんばって PTA 活動に力を入れていきたい。
- 日々の活動を改めて見つめ直す機会となった。普段、委員の方ともこのような形で話し合うことも少ないのでよかった。
- 同じ地区の子どもたちのよさや課題について共有することができた。次の一手を考えていきたい。
- コミュニティ・スクールの考え方がより明確になり、参考になった。話し合いでは活発な意見が出て、今後の学校運営につながる意見を聞き合うことができた。今後、保護者の学校運営への参加をいかに促すかが課題だと感じた。
- 地域学校委員会の基本的な動きや工夫がよく分かった。自分たちの地域の子どもたちの姿をいつも考えながら、委員の方と進めていきたい。いろいろな見方をさせていただくことで、子どもたちもしっかり育っていくと思う。

4 成果

地域学校委員会が目指しているものを再確認するとともに、どのように地域学校委員会を充実させていくのか、どのように地域学校協働活動と一体的に進めていくのか、多くのヒントを得ることができた。

